

平成23年度

# 学習指導計画(シラバス)

英語科

岩手県立盛岡第一高等学校

教科名	科目名	開講期（単位数）	必選別
外国語	英語 I	1年普通・理数科 6単位	必修
到達目標（ねらい）		使用教科書・教材	
英語の基本をしっかりと身につけ、広い意味での英語の使用のための基礎を育てる。英語を通じて異文化に対する理解を深めると共に、自分のもっている背景などを認識し、自己理解を深める。		英語 I ① PROMINENCE English I ② DUALSCOPE English Grammar in 27 Stages ③ 英語の発音ノート	
学習内容（学習時期）		学習到達目標（ねらい）	
<p><b>【前期中間】</b></p> <p>① Lesson 1～3 ② Lesson 1～7 ③ 母音の発音、子音の発音</p> <p><b>【前期末】</b></p> <p>① Lesson 4～6 ② Lesson 8～17</p> <p><b>【後期中間】</b></p> <p>① Lesson 7～9 ② Lesson 18～Extra Lesson 2</p> <p><b>【学年末】</b></p> <p>① Lesson 10～Option 2 ② Lesson 23～Extra Lesson 6</p>		<p>英文一つ一つを正確な読み取れるようになる。 文型・時制・完了形の暗唱例文を正しく暗唱し、書ける。 既習事項を使って、コミュニケーションができる。</p> <p>英文を正確に読み取り、段落間の関係を理解できるようになる。 助動詞・動詞の態・不定詞・動名詞の暗唱例文を正しく暗唱し、書ける。 既習事項を使って、コミュニケーションができる。</p> <p>英文を正確に読み取り、自分の意見を述べることができる。 分詞・比較の暗唱例文を正しく暗唱し、書ける。 既習事項を使って、コミュニケーションができる。</p> <p>英文を正確に読み取り、自分の意見を述べることができる。 関係詞・仮定法・語法・否定・無生物主語・分詞構文の暗唱例文を正しく暗唱し、書ける。 既習事項を使って、コミュニケーションができる。</p>	
評価の観点		学習の方法	
<p>①関心・意欲・態度 ②理解・表現の能力 ③知識・理解を評価の観点とする。 具体的には：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加</li> <li>・課題提出状況</li> <li>・定期テストや小テストの成績</li> <li>・本文の音読・暗唱テストの成績</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習→授業→復習のサイクルの確立</li> <li>・完璧な予習：全ての授業は予習を前提として行う。4月の教科ガイドで配付したプリントに掲載されている学習法を参考に、早期に各自の学習法を確立するように心がける。</li> <li>・授業への集中：授業の完全理解。不明な点をなくす。</li> <li>・復習の徹底：頭の中で理解して終わりとせず、音読、暗唱、暗写などを通じて、英文を全て頭の中に定着させる。</li> </ul>	

教科名	科目名	開講期 (単位数)	必選別
外国語	英語Ⅱ	2年普通・理数科 6単位	必修
到達目標 (ねらい)			使用教科書・教材
アウトプット活動へつなげるための英語の基本をしっかりと身につけさせる。多くの学習活動を通し、インプットされた英語を使用することでコミュニケーション能力の育成を図る。英語を通じて異文化に対する理解を深めると共に、自分のもっている背景などを認識し、自己理解を深める。			英語Ⅱ PRO-VISION ENGLISH COURSEⅡ
学習内容 (学習時期)		学習到達目標 (ねらい)	
<p>【前期中間】 Lesson 1 ～ Lesson 3</p> <p>【前期末】 Lesson 4 ～ Lesson 6</p> <p>【後期中間】 Lesson 7 ～ 10</p> <p>【学年末】 長文問題読解演習</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音記号を理解し、正しい発音・アクセントで英文を音読できる。</li> <li>1つ1つの英文の内容を正確に把握できる。</li> <li>・以下の文法項目を正確に理解し、英文を作り、使う (話す・書く) ことができる。</li> <li>関係代名詞の継続用法、SVC (whether 節)、付帯状況の with SVC(現在分詞/過去分詞)、同格の that、関係副詞 when / where suggest that ~ should ~、受け身の進行形、無生物主語構文</li> <li>・自分の人生を豊かにするために必要なことは何かを考える。</li> <li>・英文を意味の区切り (チャンキング) で読み下し、できるだけ英語の語順で把握できる。</li> <li>・以下の文法項目を正確に理解し、英文を作り使う (話す・書く) ことができる。</li> <li>what 疑問詞、分詞構文、さまざまな動名詞、文修飾の副詞 仮定法(I wish)、It is of ~ to、be to ~、前置詞+関係代名詞 完了形の分詞構文</li> <li>・家族の愛情や勇気の意義を理解する。</li> <li>・各パラグラフの主題やキーセンテンスを理解しながら英文の内容を正確に把握できる。</li> <li>・以下の文法項目を正確に理解し、英文を作り使う (話す・書く) ことができる。</li> <li>未来進行形、whatever など、if のない仮定法、未来完了形 結果の不定詞、仮定法 as+if ~、挿入、部分否定、動名詞 倒置、省略、There を用いた構文</li> <li>・言語、歴史、生物、平和などさまざまなジャンルの文章を読み、筆者の主張を読み取る力を身につける。</li> <li>・要約文を作ることで、各パラグラフの要素、構成、展開に着目し、文の主題を把握することができる。</li> </ul>	

評価の観点	学習の方法
<p>①関心・意欲・態度</p> <p>②理解・表現の能力</p> <p>③知識・理解を評価の観点とする。</p> <p>具体的には：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加</li> <li>・課題提出状況</li> <li>・定期テストや小テストの成績</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習→授業→復習のサイクルの確立</li> <li>・自立した学習者：授業の中で様々な学習法を提示するので、それらを参考にして、早期に各自の学習法を確立するように心がけ、自立した学習者になる。</li> <li>・授業への集中：授業の完全理解。不明な点をなくす。</li> <li>・復習の徹底：頭の中の理解（知的記憶）でおしまいではなく、音読などを通して定着（運動記憶）をはかる。</li> </ul>

教科名	科目名	開講期 (単位数)	必選別
外国語	英語W	2年普通・理数科 2単位	必修
到達目標 (ねらい)		使用教科書・教材	
英語の文法基礎をしっかりと身につけ、英語を通しての自己表現のための基礎を育てる。英語を書くことを通じて様々な社会事象に関心を持ち、それらに対する理解と自己理解を深める。		PROMINECE English Writing	
学習内容 (学習時期)		学習到着目標 (ねらい)	
<p>【前期中間】 Prominence EJ Bridge – Lesson 10</p> <p>【前期末】 Prominence Lesson 11 – Lesson 25</p> <p>後期中間】 Prominence Lesson 26 – Lesson 35</p> <p>【学年末】 Write to the Point</p>		<p>There+be 動詞、第1文型～第5文型、関係代名詞、比較未来を表す表現、現在完了形、助動詞を用いて、正確な英文を書ける。また、ある程度まとまった英文を書ける。</p> <p>To 不定詞、動名詞、知覚動詞、受動態、疑問詞、whetherで始まる目的語、仮定法 (I wish)、It – for – to、関係副詞、時条件を表す副詞節、比較、現在進行形、現在完了進行形、分詞の後置修飾を用いて正確な英文を書ける。また、ある程度まとまった英文を書ける。</p> <p>what で始まる目的語、仮定法 (as if)、関係代名詞 what、仮定法過去、語法を用いて正確な英文を書ける。また、これまで学習したことを用いて、パラグラフ構成を意識したまとまった英文を書ける。</p> <p>・後期中間までに学習した事項を用いて、記事、説明文、論説文を書くことができる。 ・日本語と英語の表現の違いを理解し、日本文を正しく解釈しながら、適切な英語に直すことができる。</p>	
評価方法		学習の方法	
<p>①関心・意欲・態度、②理解・表現の能力、③知識・理解を評価の観点とする。</p> <p>具体的には：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加。</li> <li>・課題提出状況。</li> <li>・定期テストや小テストの成績。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習→授業→復習のサイクルの確立</li> <li>・完璧な予習：全ての授業は予習を前提として行う。</li> <li>・基本例文の徹底暗唱：教科書の基本文をしっかりと身につけることが英語で自己表現をするために基礎となる。</li> <li>・授業への集中・積極的参加：授業を完全理解し、不明な点をなくす。また、積極的に活動に参加して、授業中での習得を目指す。</li> <li>・復習の徹底：頭の中で理解しておしまいでなく、音読などを通じて、英文を全て頭の中に定着させる。教科書を丸ごと一冊頭に入れてしまうつもりで取り組むこと。</li> </ul>	

教科名	科目名	開講期(単位数)	必選別
外国語	リーディング	3年普通科文系(5) 3年普通科理系(4) 3年理数科(4)	必修
到達目標(ねらい)		使用教科書・教材	
英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力を伸ばし、その文章の背景知識や論理的に考察する能力を身につける。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Crown English Reading New Edition</li> <li>・ Change the World Approach</li> <li>・ Neo 現代を読む</li> <li>・ Neo 現代を探る</li> <li>・ センター英語模擬演習 40/80</li> </ul>	
学習内容(学習時期)		学習到達目標(ねらい)	
<p><b>【前期中間】</b> Change the World Approach Unit.16～Unit.20 Crown English Reading L.4.6.9. センター入試長文編</p> <p><b>【前期末】</b> Neo 現代を読む Unit 1 ～ 20</p> <p><b>【後期中間】</b> Neo 現代を探る Unit 1 ～ 20</p> <p><b>【学年末】</b> センター試験対策演習  志望大学別二次対策演習</p>		<p>○個々の英文の正確な理解に基づいて、パラグラフがどのような論理のもとに展開されるかを理解できるようになる。</p> <p>○個々の英文あるいはパラグラフの論理展開を理解できる。</p> <p>○まとまった分量の英文の要約文を書くことができる。</p> <p>○客観式問題に対応するスキルを身につける。</p> <p>○大学入試二次試験に耐えうる力を身につける。</p>	
評価の方法		学習の方法	
<p>①関心・意欲・態度 ②理解・表現の能力 ③知識・理解 を評価の観点とする。 具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席、授業への取り組み状況</li> <li>・ 定期考査や小テストの成績</li> <li>・ 課題提出状況</li> <li>・ 小テスト</li> </ul>		<p>○完璧な予習 ・ 全ての授業は予習を前提として行う。</p> <p>○授業への積極的な参加 ・ 予習で発見した不明な点を解消する。 ・ 音読を重視する。</p> <p>○復習の徹底 ・ 読む、書く、等の身体活動を通じた復習を、授業のあるなしにかかわらず毎日行う。</p>	

教科名	科目名	開講期(単位数)	必選別
外国語	ライティング	3年普通科文系・理系、理数科(2単位)	必修
到達目標(ねらい)		使用教科書・教材	
情報や考えなど、場面や目的に応じて英語で正しく書いて伝える能力を更に伸ばす。		1 入試必携英作文 Write to the Point 2 Write it Right 英作文 3 速読英単語 必修編	
学習内容(学習時期)		学習到達目標(ねらい)	
<p><b>【前期中間】</b> 入試必修英作文 L.11~L.18 Exercise A L.1~L.4 Exercise B</p> <p><b>【前期末】</b> 入試必携英作文 L.5~L.18 Exercise B L.19, L.20 自由英作文</p> <p><b>【後期中間】</b> Write it Right 英作文 Part I 1~15</p> <p><b>【学年末】</b> Write it Right 英作文 Part II Part III 志望大学別二次対策演習</p>		<p>1 仮定・条件の基本・応用、比較の基本・応用、譲歩の表、またその他の重要表現を用い短い文を書くことができる。 主語・目的語・理由を表す比較的難しい英作文ができる。</p> <p>1 時制、動詞の語法、数字の表現、仮定・条件の基本・応用、比較の基本・応用、譲歩の表、またその他の重要表現を用い比較的難しい英作文ができる。 2 自由英作文の書き方の基本を理解する。</p> <p>1 目的・意図・原因・理由・結果・程度・条件・仮定・願望・依頼・譲歩・対立・否定・比較・比例・関連・除外・様態・受け身・使役・可能・時間・数量・習慣・強調・疑問・推測・当然・助言・命令などの表現を的確に用い、英作文を書くことができる。</p> <p>1 トピック別の英作文と、自由英作文を的確に書くことができる。</p>	
評価方法		学習の方法	
<p>①関心・意欲・態度 ②理解・表現の能力 ③知識・理解 を評価の観点とする。</p> <p>具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み(主に速読英単語小テストの結果)</li> <li>・定期考査</li> </ul>		<p>1 予習ではまず辞書を使わずに問題に取り組み、自分で文法・語法的に正しいと分かっている表現で書いてみる。</p> <p>2 書いた英文は辞書や参考書を使い、単語の綴り間違いがないか、時制を適切に用いているかなどについて推敲し、出来る限り完璧な英文を書くように努めること。</p> <p>3 授業では、文法・構文が正しく用いられているか、読み手に正しく伝わるように語彙の選択が適切であるかを中心に解説を聞き、自分が書いた英文を第三者の目で添削するつもりで臨む。</p> <p>4 外国語は自分で努力して学んだもの以外には身に付かない。復習時は音読したり、書いた文を多く使ってみたりすることが上達の秘訣である。日頃から例文などで基本構文を確認し、小テストでは常に満点を取るよう努力する前向きな学習態度が非常に重要である。</p> <p>5 覚えるべきは覚える、筋道だった方法で考えるところは考える、この二本の線を中心に、二次対策演習では記述問題を中心に大学入試問題レベルで問題演習を行う。</p>	